HW1287B

インテリア建材

クローゼット引戸　施工要領書

このたびは、弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立ておよび取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

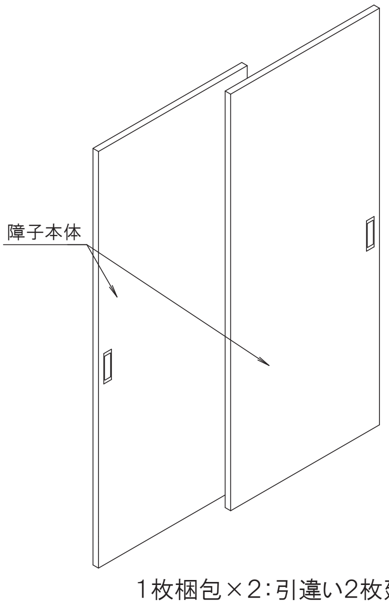
① 組み立て・取り付け上の注意事項

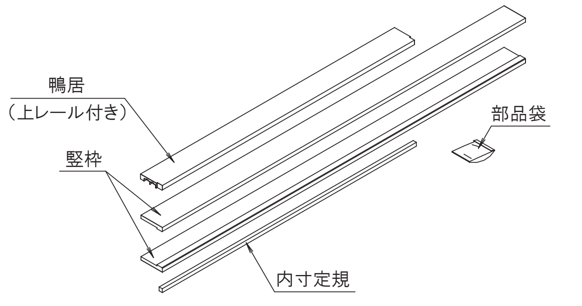
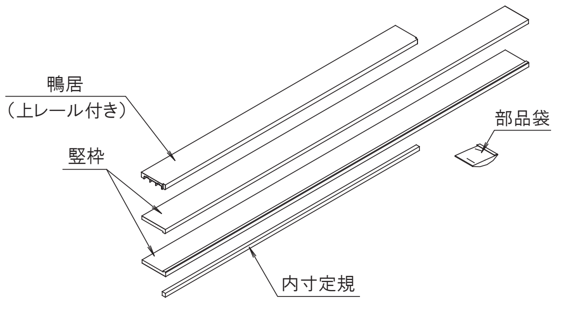
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

- クローゼット引戸以外への転用および改造は行なわないでください。
- 指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ねじ止め・釘打ち箇所は指定してあるねじ釘を全て確実に止めてください。
- 組み立て、取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと開閉作動が正常に行なうことができることおよび使用上の不具合がないか確認してください。
- クローゼット内部に造り付けの棚等を設置される場合は、枠より２０ｍｍ以上はなして設置してください。
- 引渡前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- 現場で使う接着剤は「Ｆ☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用ください。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付ドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじの頭が破損したり、つぶれたり、ねじが空回りしたりします。

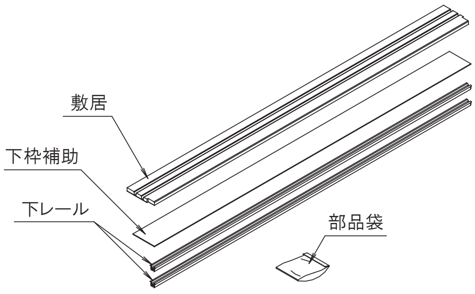
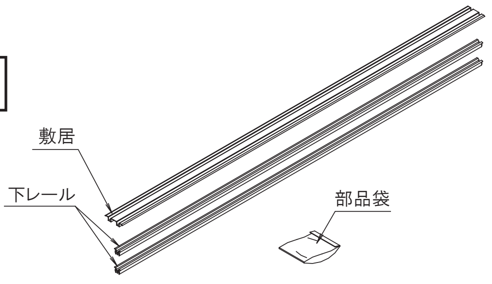
② 梱包内容の確認

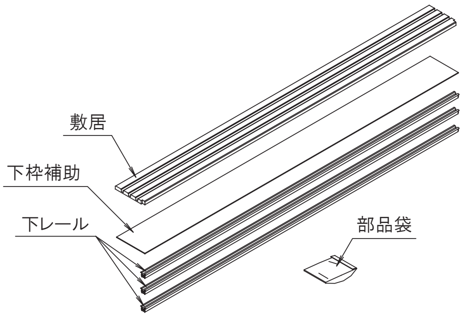
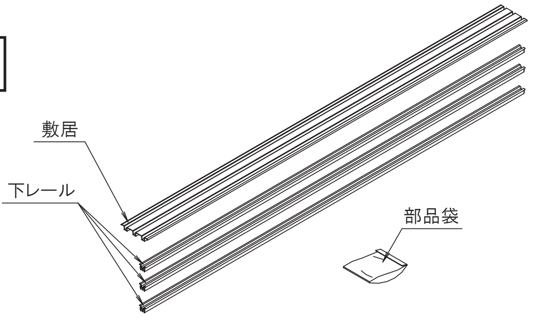
- 開梱時に種類と数量を確認してください（部品袋の内容にもご注意ください）。
- 商品に破損や異常がないか確認してください。
- 万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または弊社までご連絡ください。

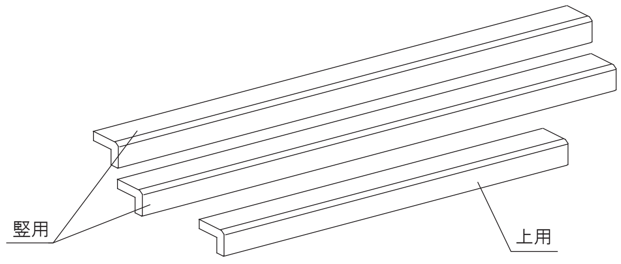
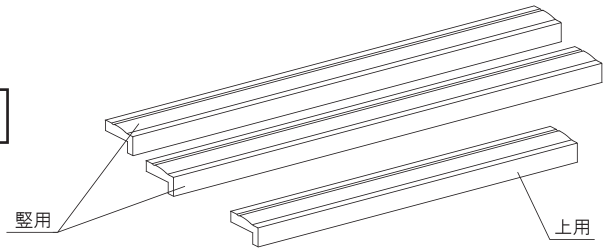
<table>
<tr><th></th><th>本　体</th><th>枠</th></tr>
<tr><td>クローゼット
引違い2枚建</td><td rowspan="2">

1枚梱包×2：引違い2枚建用
1枚梱包×3：引違い3枚建用</td><td>
</td></tr>
<tr><td>クローゼット
引違い3枚建</td><td>
</td></tr>
</table>

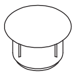
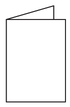
●オプション　敷居

<table>
<tr><th></th><th>MDF敷居</th><th>埋込み敷居</th></tr>
<tr><td>クローゼット
引違い2枚建</td><td>
</td><td>又は

</td></tr>
</table>

	MDF敷居		埋込み敷居
クローゼット 引違い3枚建		又は	

L型タイプ		化粧タイプ
	又は	

●本体部品袋詳細

タイプ ＼ 部品	呼称	枠組み立て用 木ねじA	躯体取り付け用 木ねじA	躯体取り付け用 木ねじB	ホールプレート	施工要領書
		 専用木ねじ 3.8×51×8	 木ねじ皿 3.8×51×8	 木ねじ丸 4.1×45×7.6		
引違い2枚建	1618	4本	H18，20タイプ：10本 H23タイプ：12本	7本	H18，20タイプ：10本 H23タイプ：12本	1冊
	1620					
	1623					
引違い3枚建	1618					
	1620					
	1623					
	2418			11本		
	2420					
	2423					

●オプション　MDF敷居部品袋詳細

タイプ ＼ 部品	呼称	枠組み立て用 木ねじB	躯体取り付け用 木ねじC
		 専用木ねじ 3.8×51×8	 木ねじ皿 3.1×32×6.2
引違い2枚建	1618	4本	7本
	1620		
	1623		
引違い3枚建	1618		
	1620		
	1623		
	2418		11本
	2420		
	2423		

●オプション　埋込み敷居部品袋詳細

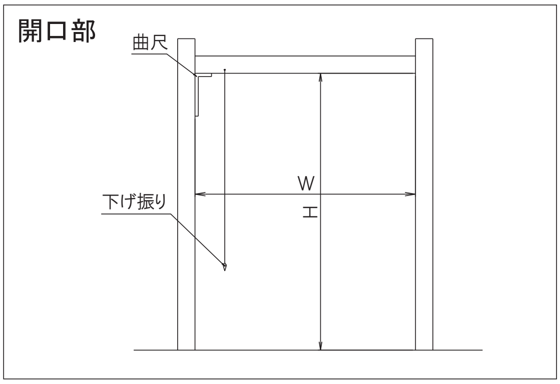
タイプ ＼ 部品	呼称	躯体取り付け用 木ねじD
		 木ねじ皿 3.1×32×6.2
引違い2枚建	1618	7本
	1620	
	1623	
引違い3枚建	1618	
	1620	
	1623	
	2418	11本
	2420	
	2423	

③ 開口部の確認

①クローゼット枠取り付け前に、必ず柱の水平・垂直がでているか
確認してください。
②見込みは枠とケーシングの組み合わせにより幅広く対応できます。
（ケーシングの足をカットする場合は、一律に丸ノコなどでカットしてください。）

■開口部寸法表

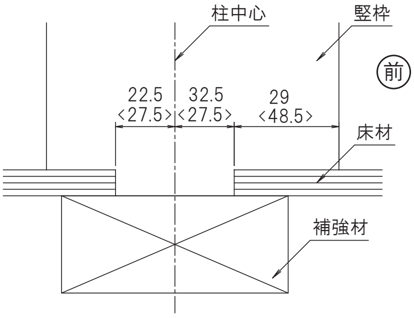
開口部W	枠W＋5～10mm
開口部H	枠H＋3～5mm 床先張りの場合は 枠H＋17～20mm



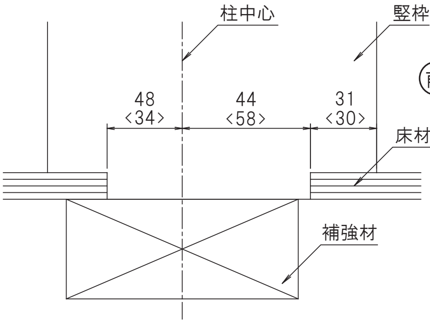
④ 床の張り方

【床先張りの場合】
・図のように床を張ってください。
※埋込み敷居取り付けのため、補強材を必ず取り付けてください。特に根太張り工法の場合は、必ず充分な強度を持った補強材をお使いください。
・柱中心から下記寸法のとおり開けて床を張ってください。
＜　＞内寸法は、ケーシング無しの寸法です。

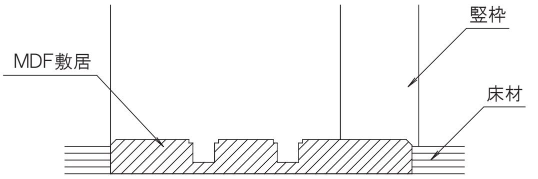
●引違い2枚建の場合



●引違い3枚建の場合



【床後張りの場合】
※枠取り付け後、竪枠・敷居にそって床材を張ってください。

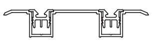


⑤ 枠の組み立て

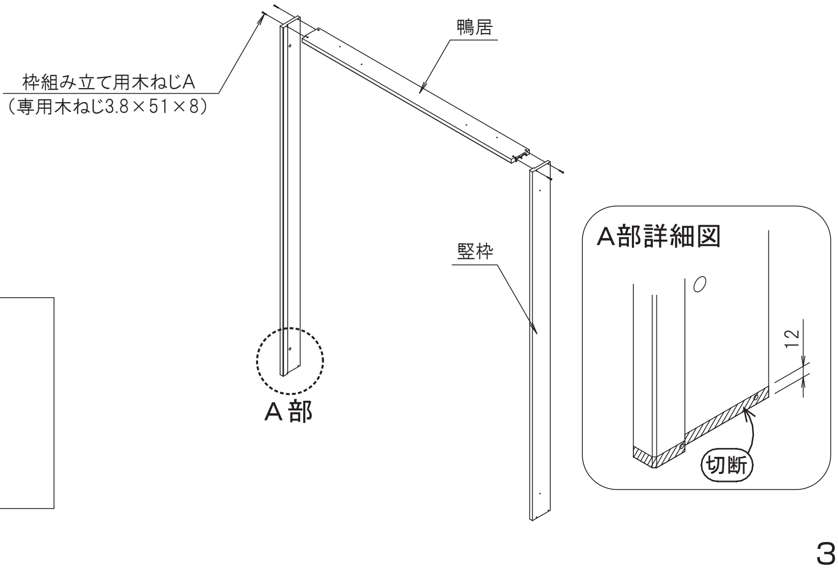
【床先張りの場合】
※埋込み敷居を使用してください。
①竪枠下部を右図のA部詳細図のように
12mmカットしてください。
②右図のように各部材を組み合わせ、
枠組み立て用木ねじA（専用木ねじ3.8×51×8）
で固定します。

【埋込み敷居】

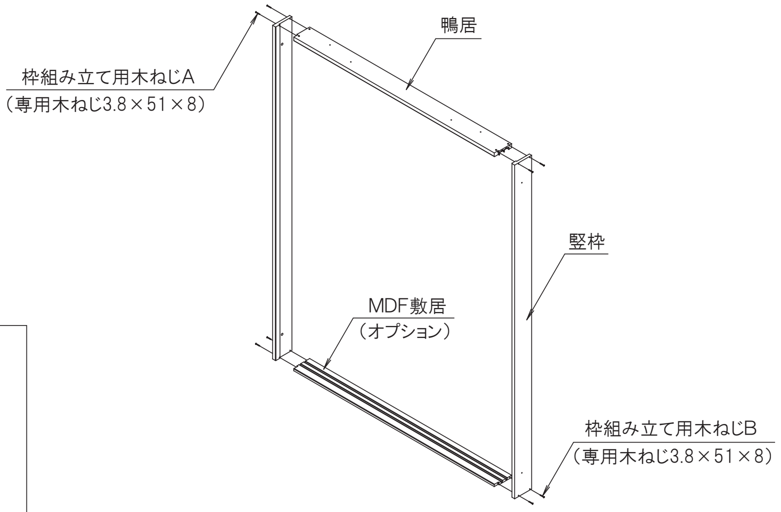
●引違い2枚建



●引違い3枚建

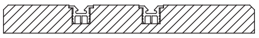


【床後張りの場合】
※MDF敷居を使用してください。
①右図のように各部材を組み合わせ、
枠組み立て用木ねじA・B（専用木ねじ3.8×51×8）
で固定します。

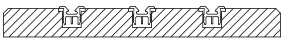


【MDF敷居】

●引違い2枚建

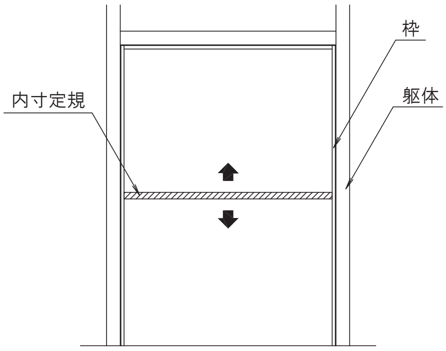


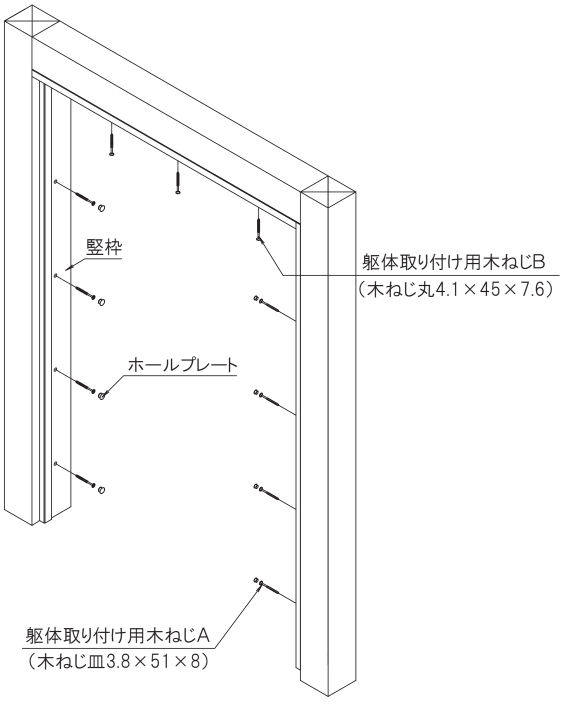
●引違い3枚建



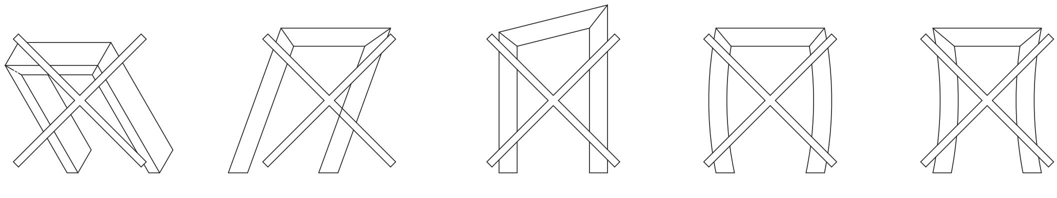
⑥ 枠の取り付け

①枠を壁面のラフ開口部にはめ込み、クサビなどで上下、
左右、前後、倒れなどを調整し、位置を決めてください。
②鴨居はレール部より躯体取り付け用木ねじB（木ねじ丸
4.1×45×7.6）、また、竪枠は戸当り部より躯体取り付け用
木ねじA（木ねじ皿3.8×51×8）で躯体にしっかりと
固定し、ホールプレートをはめてください。（右図）
その際、同梱の内寸定規を用いて、下図のように開口
寸法の確認を行なった後、本固定してください。





※ ①木ねじ止め時、枠に傷をつけないように止めてください。
②クサビなどは、左右4個、上下各2個くらいを平均に使用して調整を行なってください。
木ねじはクサビなどがある場所へねじ止めしてください。
③施工後の枠が下図のようにならないよう水平・垂直および開口部寸法の確認をしてください。
（いずれも±1.5mm以内の施工にてお願いいたします。）



倒れ　傾き　ズレ　たいこ　つづみ

【埋込み敷居の取り付け】

③－1

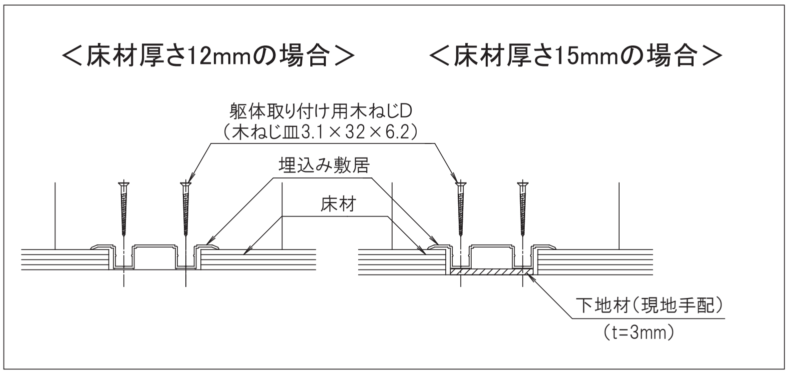
・床材の厚さを確認します。

＜床材厚さ15mmの場合＞

・敷居の取付巾、長さに合わせ厚さ3mmの下地材（現地手配）を埋込み敷居の取り付け部に先貼りし、施工してください。

＜床材厚さ12mmの場合＞

・躯体取り付け用木ねじD（木ねじ皿3.1×32×6.2）にてねじ止めしてください。



【MDF敷居の取り付け】

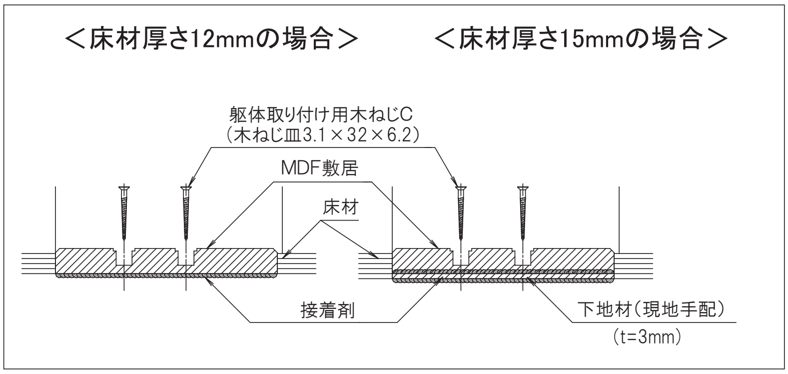
③－2

＜床材厚さ12mmの場合＞

・必ず、敷居に接着剤を塗布し、躯体取り付け用ねじC（木ねじ皿3.1×32×6.2）にて、ねじ止めしてください。

＜床材厚さ15mmの場合＞

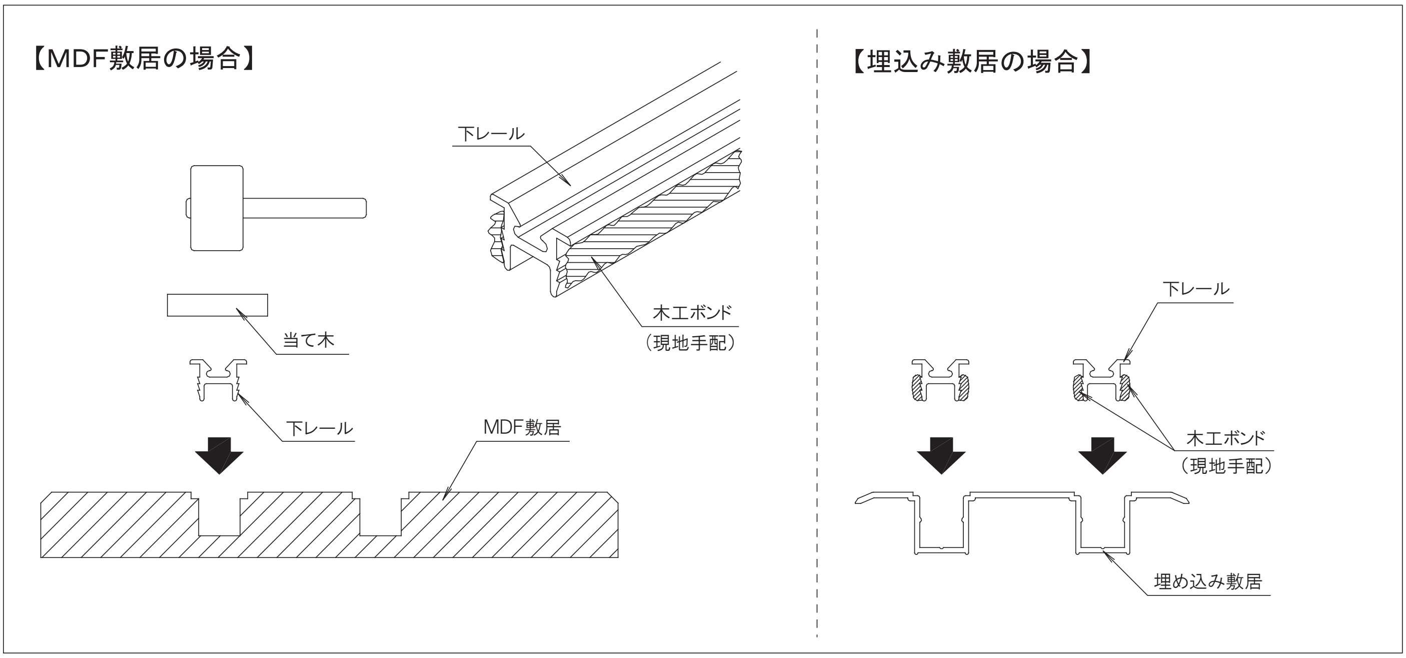
・必ず、敷居と下地材（現地手配）に接着剤を付け、施工してください。



④下レールの取り付け

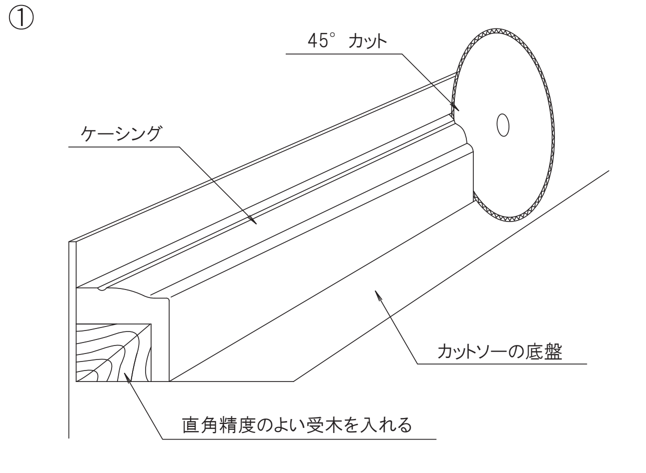
・敷居の溝に当て木をあてて、プラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

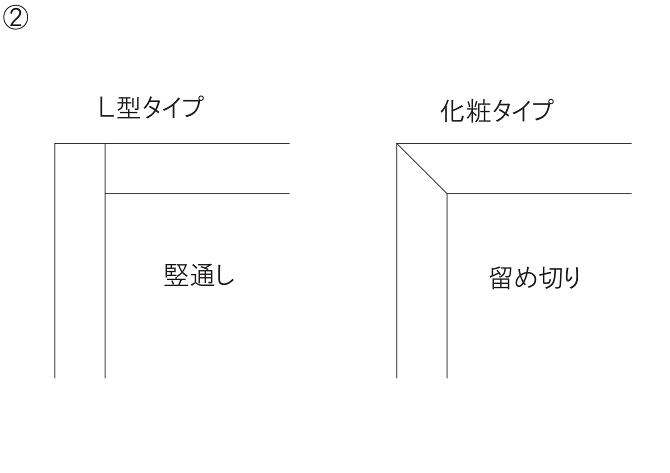
・レール溝にガタのある場合は、木工用ボンド（現地手配）を使用してください。



⑦ ケーシングの切断方法

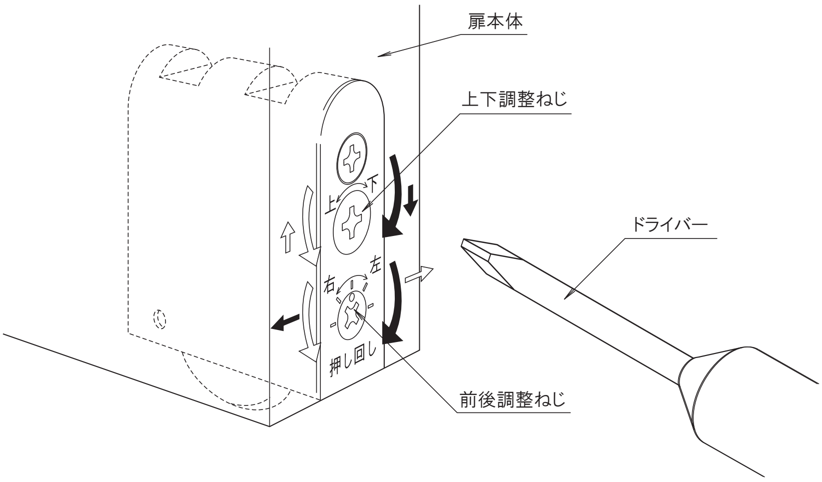
①ケーシング材を現場寸法に合わせてカットしてください。
②接合部は下図を参考にL型タイプは竪通し、化粧タイプは留め切りにしてください。
※留め切りはケーシングの裏側に直角が出ている受け木を入れ、45°斜めカットソーで切断すると精度ができます。
※ケーシング切断寸法はあらかじめ留め切りにしてある部分を基準にして切断してください。



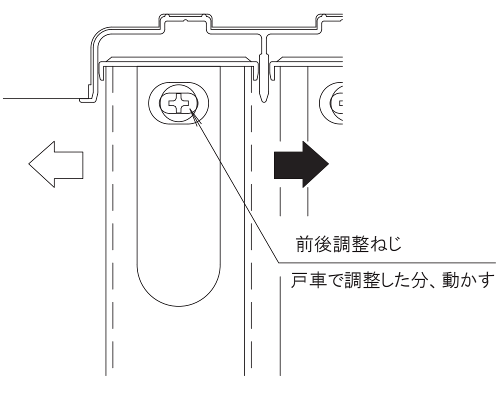


⑧ 本体および枠の建て付け調整

●本体の戸車には、上下方向および前後方向に調整機能が付いています。
①上下調整ねじを右へ回すと障子が下がり、左へ回すと上がります。
②前後調整ねじを右へ回すと障子が左へ動き、左へ回すと右へ動きます。
※前後調整ねじは、ねじの印が目盛りの範囲でしか動きません。それ以上動かすと戸車がこわれます。



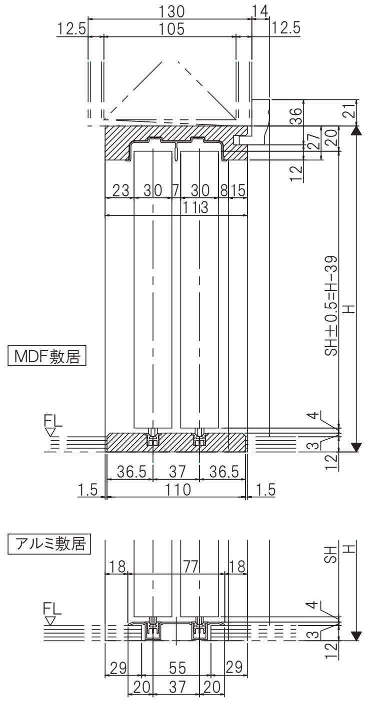
●本体の上部には、前後方向の調整がついています。
・調整機本体の上側のねじをゆるめ調整をしてください。
調整が終わりましたらねじを締めてください。

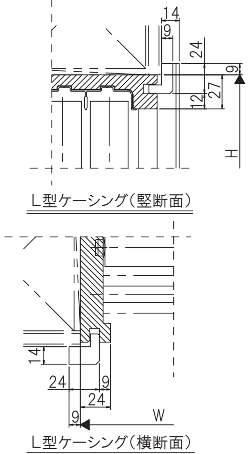


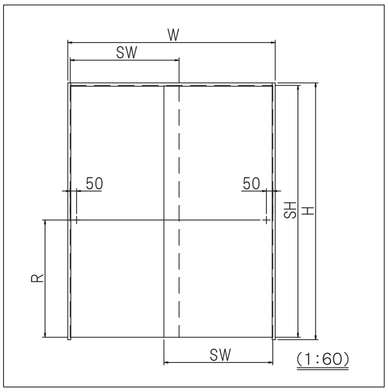
●iS 引違い2枚建

基本寸法(mm)	W呼称	16		
	W	1645		
	(SW)	(863)		
	H呼称	18	20	23
	H	1839	2039	2300
	(SH)	(1800)	(2000)	(2261)

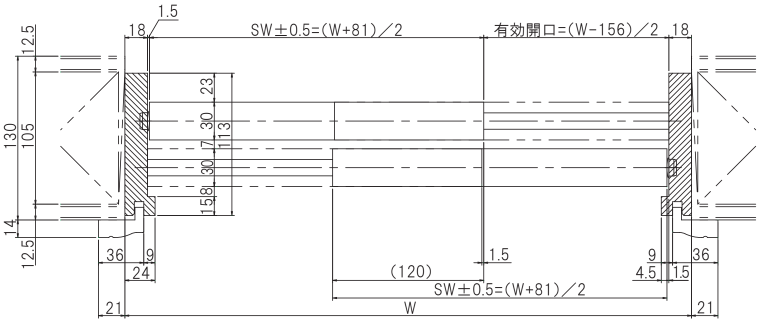
■引違い2枚建　ケーシング枠







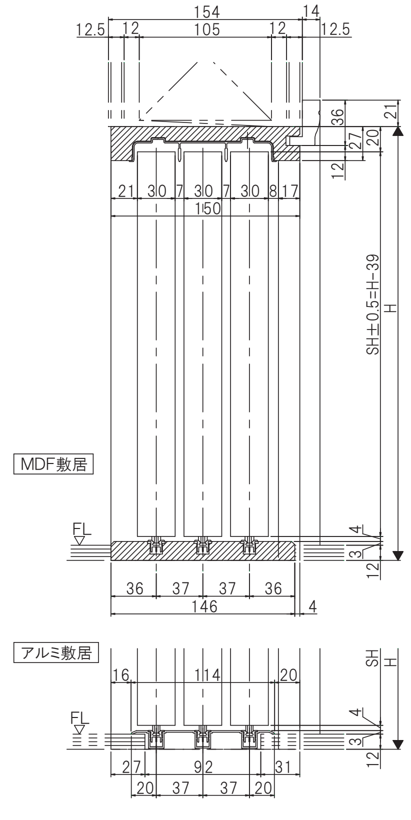
	R
1500≦H	931
1500>H	H／2−20

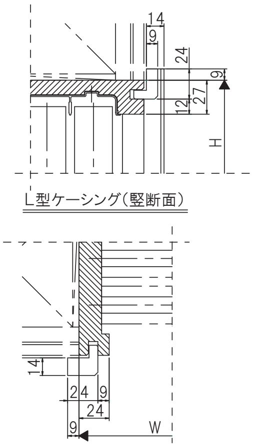


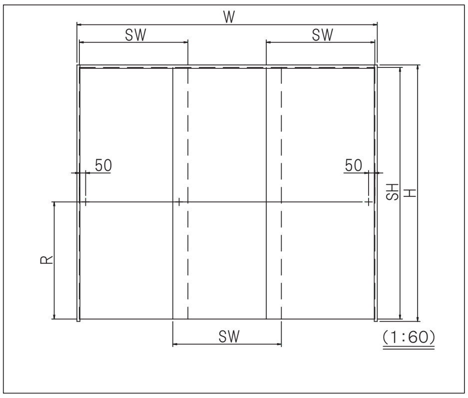
●iS 引違い3枚建

基本寸法(mm)	W呼称	16	24	
	W	1645	2451	
	(SW)	(615)	(884)	
	H呼称	18	20	23
	H	1839	2039	2300
	(SH)	(1800)	(2000)	(2261)

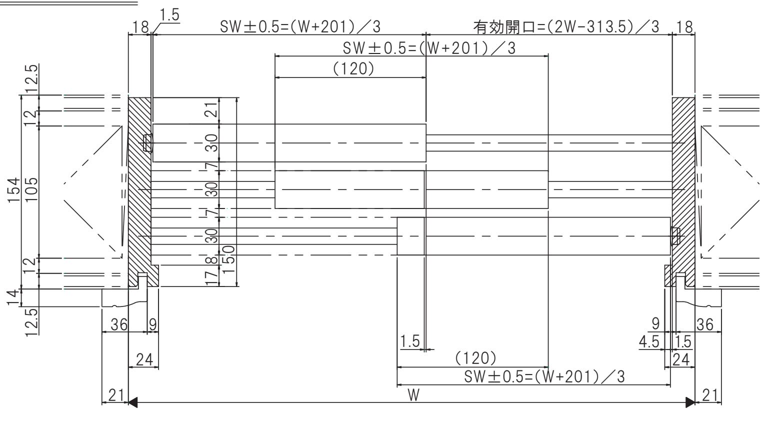
■引違い3枚建　ケーシング枠



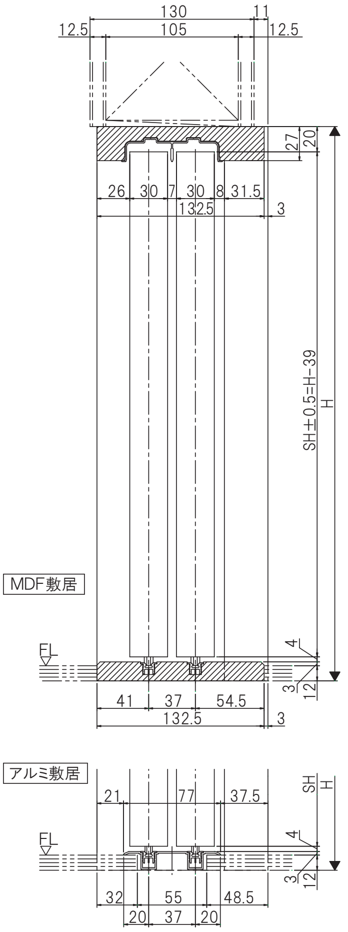


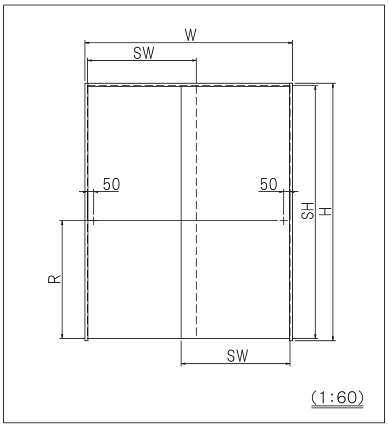


	R
1500≦H	931
1500>H	H／2−20

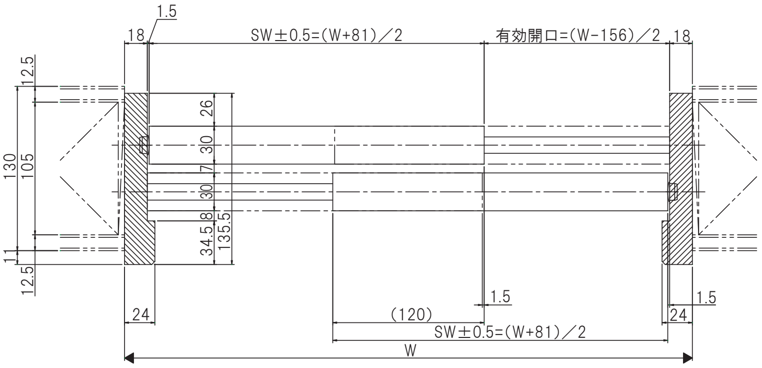


■引違い2枚建 ノンケーシング枠

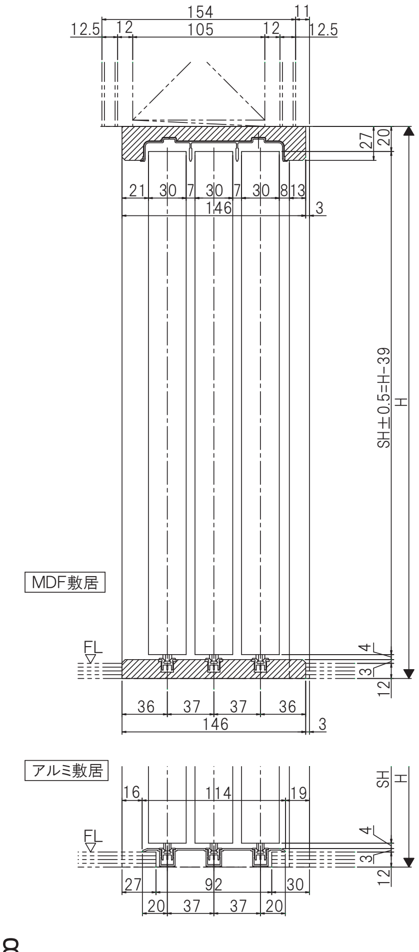


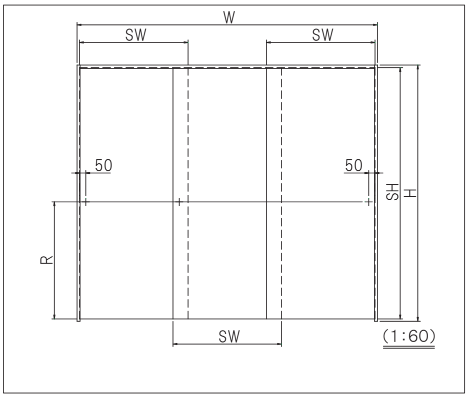


	R
1500≦H	931
1500>H	H／2−20

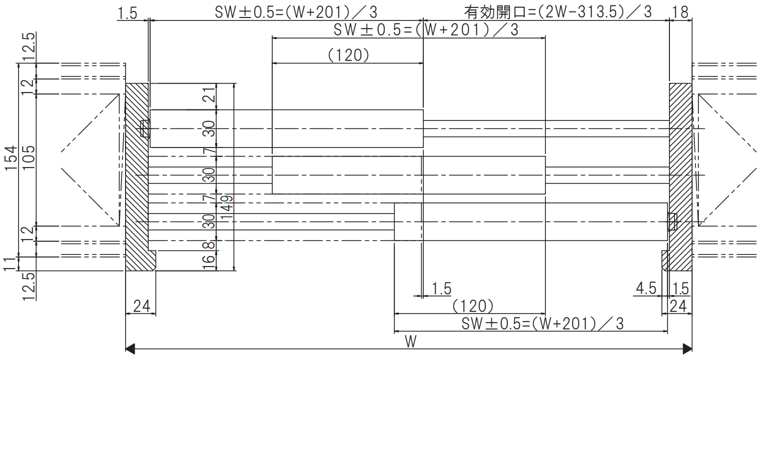


■引違い3枚建 ノンケーシング枠





	R
1500≦H	931
1500>H	H／2−20



取り付け終了後の確認

■取り付けが完了しましたら、下記の点について確認してください。

取り付けが完了しましたら、本製品が他の現場工事によって破損しないよう梱包資材などを利用して養生しておいてください。

ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、捨てたり燃やしたりせず、回収業者に引き取っていただくようお願いいたします。